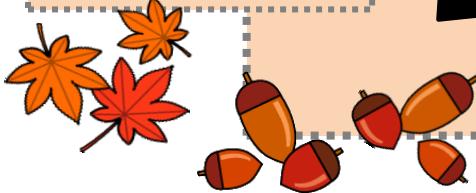


中条っ子

校訓 心身ともに健康



津幡町立中条小学校
校長 嶋崎 恭代
令和7年9月5日
特別号

4月に、6年生を対象に全国学力・学習状況調査（国語・算数・理科・意識調査）と石川県基礎学力調査（社会・英語・意識調査）を、5年生を対象に津幡町学力調査（国語・算数）を、4年生を対象に石川県学力調査（国語・算数・意識調査）を実施しました。

その調査結果が分かりましたので、今後の指導の重点とともにお知らせします。本県は、近年、継続して全国上位の調査結果です。そこで、中条小学校の平均正答率を本県や国の平均正答率と比較し、5段階に分類してお伝えします。

(1) 令和7年度 中条小学校4・5・6年生の学力調査結果

6年生	全国学力・学習状況調査 石川県基礎学力調査			石川県基礎学力調査	
	国語	算数	理科	社会	英語
県との比較	↑	↗	↗	→	→
国との比較	↑	↑	↑		
5年生	津幡町学力調査				
	国語	算数			
国との比較	↗	↗			
4年生	石川県基礎学力調査				
	国語	算数			
県との比較	↑	↑			

	平均正答率との比較
↑	5%以上上回る
↗	2~5%上回る
→	国・県平均と同程度
↖	2~5%下回る
↓	5%以上下回る



今年度、本校の4・5・6年生の学力調査の平均正答率は、すべての教科において国・県平均を上回るか同程度の結果となりました。児童一人一人が、日々の授業・家庭学習などを通して、学習内容が定着するよう意欲的に粘り強く学習に取り組んできた成果と捉えています。

本校では、さらなる学力向上、主体的な学びにつなげるため、児童の強みや弱みを分析し、授業で力をつけることができるよう取り組んでいきます。また、日々の授業はもちろん、家庭学習などの充実も図り、基礎基本の定着に努めたいと思います。今後とも、本校児童の主体的な学びを通したさらなる学力向上のために、ご理解・ご協力をお願いします。

(2) 令和7年度 児童への意識調査結果（全国学力・学習状況調査より）

◎全国平均と比べ、よい結果の項目

【生活習慣・学習習慣】

- 朝食を毎日食べている。
- 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- 健康にすごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てている。

→基本的な生活習慣や健康に過ごすために必要な知識の定着が見られます。

※学校では、引き続き自分の体を大切にするために必要なことについて指導していきます。

【ネットコントロールについて】

保護者と児童で決めた納得できるルールは守られやすいと言われています。学校でもネットコントロールの取組を進めていますので、ご協力いただきたいと思います。

【熱中症対策について】

児童に気温や湿度、熱中症情報を示したり、体調管理の仕方を教えたりして、自ら熱中症を防止できるようにしています。

【授業】

- 自分と違う意見について考えることは楽しい。
- PC・タブレットなどのICT機器を使って発表のスライドを作成することができる。
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方につづいたりすることができます。
- 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。
- 算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っている。

→主体的、意図的にICT機器を使い、学力向上につながっています。

必要に応じて学び方や調べ方を自己選択します。相手意識をもち、ICT機器を使って伝わりやすい資料を作ることができます。

→主体的に友達と話し合いながら解決する姿が身に付いています。

朝学習や家庭学習を計画的に行うことで、基礎基本の確実な定着を図っています。

【自己有用感等】

- 自分には、よいところがある。
- 先生は、よいところを認めてくれている。

→児童は自分のよさに気付き、よい所を伸ばして自己有用感をもち、友達と関わりながら前向きに学校生活を送っています。

※児童の自己有用感をさらに高めるために、児童一人一人の良さを実感して発揮し、お互いを認め合う学級づくり・授業づくりを推進していきます。

【地域・社会に関わる状況】

- 新聞を読んでいる。
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。

→児童は進んで地域・社会のことを知ろうとする姿勢をもっています。

※児童の生きる力は、多様な人々と関わり、様々な経験を重ねていく中で育まれます。今後も地域との連携を深め、ゲストティーチャーを招聘するなどして地域と関わる学習活動の充実を図っていきます。

(3) 今後の指導の重点

- 基礎基本の確実な定着と理由を明確にして説明する力の向上を図る。

- ・目的やゴールを子供と共有し、子供主体の授業を実践する。
 - ・朝学習や家庭学習を充実させ、児童の漢字や計算等の確実な定着を確認する。
-
- 児童一人一人の良さが発揮され、「失敗を宝物にして」楽しく学び合い成長を実感できる学級づくり・授業づくりを推進する。
 - ・子供主体の授業を目指し、主体的な学びへの働きかけを行っていく。
 - ・「自己決定の場を提供」、「子供のよさを価値付ける褒め・認め」を行い、児童同士が認め合う場を設定する。